

パブリックコメントによる意見募集結果

- 1 募集期間 平成25年11月27日から平成25年12月26日まで
- 2 意見の件数(意見の提出者数) 23件(5人) ※同趣旨のご意見はまとめております。
- 3 意見の取扱い

反映:寄せられたご意見の趣旨を踏まえ、内容に反映するもの 6件
 参考:今後の取り組みの参考とさせていただくもの 7件
 既掲載:ご意見の趣旨が既に掲載されているもの 10件
 ※取扱いの内容が複数になるご意見については、それぞれの件数に反映されています。

【基本施策1 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進】について

番号	意見提案の概要	該当項	県の考え方	取扱い
1	学校スポーツにおいては、外部指導者の協力を得るなど、地域との融合を積極的に進めてほしい。	P13	学校の運動部活動においては、地域のスポーツ指導者と積極的な連携を図りながら、適正で魅力ある活動の推進に努めます。 (21行目～掲載) 学校と地域スポーツ指導者との連携を推進すること。その際、総合型クラブ等との連携についても、一層理解を図りながら有効な連携を行うこと。	既掲載
2	医療・福祉団体と連携し、健康向上プログラムを提供するなど、高齢者の健康寿命の延伸を図ってほしい。	P14	高齢者自らが、積極的に介護予防に取り組むことができるよう、高齢者スポーツの推進に努めます。 (7行目～掲載) ○ 健康寿命の延伸を図り、高齢者自らが積極的に介護予防に取り組むため、高齢者の身近な場所で予防教室を開催するとともに、地域の元気な高齢者が他の高齢者に介護予防の必要性を広める取組に対し支援します。	既掲載

【基本施策2 誰もが参加できるスポーツスタイルの拡大】について

番号	意見提案の概要	該当項	県の考え方	取扱い
3	自治体は、総合型地域スポーツクラブの育成に、積極的に関わりながら、クラブへの助言や住民への啓発に努めてほしい。	P20	県民が生涯にわたって豊かなスポーツライフを送ることができるよう、身近で利用しやすい総合型地域スポーツクラブの育成支援に努めます。 (4行目～掲載) ○ 市町村がスポーツ推進計画を策定・改訂する際、総合型クラブの創設・育成を計画に位置付けられるよう働きかけます。また、市町村が行う総合型クラブの育成や安定的な運営に向けた地域住民への普及・啓発研修会の開催、熱意と能力のある人材発掘、イベントやスポーツ教室・事業の実施委託などを支援します。	既掲載
4	自治会などの住民に一番身近な住民組織を、積極的に活用してほしい。	P21	自治会などの住民組織との連携を積極的に図りながら、地域スポーツの振興を進めます。 (7行目～参考) ○ 地域住民が、日常的に総合型クラブをはじめとした地域スポーツクラブやスポーツ団体等の運営に参画したり、地域ならではの校区の運動会や地域スポーツ大会等のスポーツイベントの運営・実施等に参画したりできる環境を整えます。	参考
5	地域に根ざしたスポーツコーディネーターを育成し、現在ある組織を活用した地域スポーツの推進をしてほしい。	P21	地域スポーツのコーディネーターとしての役割を担う、スポーツ推進委員の資質の向上を図り、地域スポーツの推進に努めます。 (32行目～掲載) ○ スポーツ推進委員は、これまで地域におけるスポーツ振興の要として活動してきましたが、現在は当初の職務から、より幅を広げたスポーツ活動やスポーツの推進のための事業の実施に係る調整役としての役割が求められています。 スポーツ推進委員一人一人の意識改革を図るため、スポーツ推進委員自らがモチベーションを高められるような研修内容を検討していきます。	既掲載

【基本施策3 魅力あるスポーツイベントの充実】について

番号	意見提案の概要	該当項	県の考え方	取扱い
6	天草国際トライアスロンのような国際的プライベート大会を設け、定着を図り、世界選手権だけでなくアジア大会なども積極的に招致してほしい。	P25	各市町村が実施する、様々なスポーツイベントを支援し、2019女子世界ハンドボール選手権大会の招致を成功させた実績を生かし、今後も国際大会等の大規模な大会の誘致を積極的に進めます。 (23行目～掲載) ○ <u>関係スポーツ団体及び市町村と連携して国内外のトップレベルのスポーツ大会の誘致に今後も取り組み、多くの県民がスポーツをより身近に楽しむことができる機会をさらに増やします。</u>	既掲載
7	アマチュア・プロを問わず、スポーツを安全に行うことができるよう、アスレチックトレーナーを設置してほしい。	P27	トレーニング指導やコンディショニング指導には、医科学的な判断が欠かせないため、医科学サポート体制の充実に努めます。 (19行目～参考) トレーニング指導には医科学的な判断が欠かせないため、医療機関からの協力体制を含め、医科学サポート体制の充実や高精度体組成測定器を活用した体力向上についても支援します。	参考
8	参加したい種目、観たい種目、支えたい種目が、いつどこで実施されるのが簡単に検索できるような、スポーツ情報の一元化を図ってほしい。	P28,36	県立スポーツ施設の利用方法や開催されるスポーツイベント、スポーツ教室など、県民の日常スポーツ活動の支援となるスポーツ情報を、様々な広報媒体を使って情報提供するよう努めます。 (P28 7行目～掲載) ○ <u>県立スポーツ施設の利用方法、利用時間などの施設案内や開催されるスポーツイベントやスポーツ教室など、県民の日常スポーツ活動の支援となるスポーツ情報を、さまざまな広報媒体を利用し、分かりやすく情報提供するよう努めます。</u> (P36 20行目～掲載) ○ <u>メディアやインターネットなどを通じて、県内で開催される国際・全国大会等の情報を提供し、観戦を促進するための環境整備に努めます。</u>	既掲載
9	種目の特性上、活動ごとの機械・器具の設置・撤去が困難なため、機械・器具が常時設置されている体操競技専用の活動スペースを設置してほしい。	-	施設整備にあたっては、住民の様々なニーズや利用増進、適正な規模等を勘案する必要があり、体操競技専用のスペースを確保することは、難しい状況にあります。県立スポーツ施設については、県民が利用しやすい施設となるよう、指定管理者と連携して管理運営に努めます。	参考
10	経済・政治団体等と連携し、高齢者や障害者も安心してスポーツが楽しめるような施設や環境を整えてほしい。	P28	施設の整備にあたっては、バリアフリー化等に留意し、関係団体等とも連携しながら、誰もがスポーツに参加しやすい環境整備に取り組みます。 (25行目～掲載) ○ <u>施設の整備にあたっては、バリアフリー化等に留意し、誰もがスポーツに参加しやすい環境整備に取り組みます。</u>	既掲載

【基本施策4 競技力の向上と世界に羽ばたくトップアスリートの育成】について

番号	意見提案の概要	該当項	県の考え方	取扱い
11	競技力向上のために、従来の取り組みとは別途の方策を講じてほしい。	P33	県体育協会をはじめ、市町村、競技団体、学校等と連携を図り、中・長期的な視点に立った施策を通して、トップアスリートの育成に努めます。 (16行目～参考) このような成果を一過性のものとせず、今後も安定した競技力を維持するには、新たな目標を設定し、これまでの成果を活かした取組を切れ間なく引き継ぐことが重要です。	参考
12	ナショナルトレーニングセンターの熊本型の設置をするなどして、競技団体間の連携を強化し、選手や指導者を育成してほしい。	-	県体育協会の医科学専門委員会が、ナショナルトレーニングセンターの役割を担うべく、医科学分野を取り入れた先進的な競技力向上対策を競技団体と連携しながら進めています。更に県体育協会が競技力向上に向けて中心的機能を発揮できるよう検討します。	参考
13	トップアスリートが競技に専念できる環境や、現役引退後の支援に力を入れてほしい。	P35	トップアスリートと地域スポーツとの連携・協働が重要であり、トップアスリートが地域に貢献できるような、人材活用の機会を増やす必要があります。 (10行目～参考) 国が進める「地域スポーツとトップスポーツとの好循環推進プロジェクト」事業に伴い、総合型クラブ及び市町村教育委員会への啓発活動を積極的に進めます。 その際、トップアスリートのリストを人材バンクとして活用するために、県体育協会の協力もと、活用できるデータの作成を検討します。	参考
14	役所内の取り組みについて、組織を横断的に網羅し、従来の枠組みを超える取り組みを目指してほしい。	P40	庁内においては、関係部局による連携した取り組みがスムーズに図られるよう、推進体制を整えているところです。 (5行目～参考) 本計画は、横断的、総合的な取組として推進しますが、その取組のまとめや進捗状況については、関係部局と連携しながら、・・・(後略)	参考

【スポーツ推進全体に関すること】について

番号	意見提案の概要	該当項	県の考え方	取扱い
15	自治体は、短期、中期、長期のスポーツの振興構想を策定し、推進してほしい。	P2	本計画に基づき、今後10年を見据えた本県のスポーツ推進の方向性を示し、今後5年間にどのように具体的な施策に取り組むかを明らかにしながら、スポーツ推進に努めます。また、県は市町村における地域スポーツ推進計画の策定を支援します。 (28行目～掲載) <u>この計画は、今後10年先を見据えた本県のスポーツ推進の方向性を示すものであり、今後5年間にどのように具体的な施策に取り組んでいくかを明らかにし、・・・(中略)・・・市町村や関係機関、スポーツ関係団体などとの連携・協働のもと、一体的な取組を推進するものです。</u>	既掲載
16	自治体は、推進計画について、住民関係団体への周知を図ってほしい。	P39	本計画を効果的に推進するため、計画書を市町村へ配布し、ホームページへ掲載するなどし、周知を図ります。 (32行目～掲載) 特に、各市町村については十分な協力・連携を図りながら、 <u>県計画の趣旨を踏まえ、計画を効率的かつ効果的に推進することで、県全体として総合的なスポーツの推進を図ることとします。</u>	既掲載
17	スポーツ推進の進捗状況について、常に確認作業を行うシステムを構築してほしい。	P40	進捗状況等については、県民や有識者に評価していただき、状況把握に努め、計画の有効性を高める必要があります。 (5行目～掲載) 本計画は、横断的、総合的な取組として推進しますが、その取組のまとめや進捗状況については、 <u>関係部局と連携しながら、計画に掲げた施策の「目標」「具体的な方策」などについての成果や課題等を県民や有識者に評価していただくとともに、実施状況等を県教育委員会が取りまとめ、熊本県スポーツ推進審議会に諮り、計画の有効性を高めながら次年度以降の取組に反映させて推進してまいります。</u>	既掲載

【表記に関すること】について

番号	意見提案の概要	該当項	県の考え方	取扱い
18	「人間関係の希薄化による精神的ストレスの増大」の「希薄化」を「希薄化等」に変更する方が適切ではないか。	P1	精神的ストレスの原因は、「人間関係の希薄化」以外にも考えられるため、訂正いたします。 (5行目) 人間関係の希薄化→人間関係の希薄化等	反映
19	「子供」と「子ども」が交ぜ書きになっているため、統一した方がよい。	P1,3他	学校現場などで長年使用され定着している状況を踏まえて、「子ども」の表記で統一いたします。 (文中) 子供→子ども	反映
20	「前回の調査結果45%より伸びている」の「前回」の後に(平成21年)を入れた方がわかりやすい。	P2	前文節の「58. 5% (平成24年)」の表記に習い、「前回の調査結果45% (平成21年)」に訂正いたします。 (4行目) 調査結果45%→調査結果45% (平成21年)	反映
21	「各研修会」は「各種研修会」に変更するほうが適切ではないか。	P3	多種多様な研修会を通して、スポーツ振興を図る必要があることから、訂正いたします。 (29行目 2の枠の上から5番目) 各研修会→各種研修会	反映
22	「過度の練習や試合が行われているとの指摘」の「行われている」を「行われているなど」に変更する方が適切ではないか。	P10	運動部活動に対する指摘には、複数の種類があることが考えられることから、「行われているなど」に訂正いたします。 (6行目) 行われているとの指摘→行われているなどの指摘	反映
23	「インクルージョン社会」「スポーツツーリズム」「グリーンツーリズム」「フットパス」などの言葉に、用語の解説が必要では。	P41	用語の補足説明のページを設けます。	反映